

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年12月22日		
		作成部署	港湾課		
事業名	重要港湾舞鶴港 和田地区 多目的国際ターミナル整備事業		地区名	和田地区～西港地区	
概算事業費	466億円		事業期間	平成元年度～平成24年度	
事業概要	近畿圏における日本海側の拠点港として、外国貿易（外資）の物流機能の充実を図り、府北部地域の産業振興や地域活性化に資するため、多目的国際ターミナルの整備を行う。				
目指すべき環境像	若狭湾に湾口を開いた舞鶴港は、波静かな天然の良港を形成し、リアス式海岸による美しい海岸線は、多くの景勝地に恵まれているほか、良好な漁場として利用されている。したがって、周辺環境に配慮した計画、工事の施工、施設の管理が必要である。				
関連する公共事業	国直轄港湾整備事業（-14m岸壁） 港湾改修事業、舞鶴港特別整備事業、舞鶴港整備事業				
評価項目				環境評価	
主要な評価の視点		選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	
地球環境・自然環境	地球温暖化（CO ₂ 排出量等）	○	地区内には多種の野生動物と魚介類等の生育が確認されているため、生育環境に配慮する必要がある。	資源のリサイクル等に努めCO ₂ 排出量の削減を図る。 工事に際しては、魚類・貝類などの生育環境を極力保全し、水質の悪化および濁りを防ぐ。 ※水中工事時は定期的に濁度調査を行う。	3
	地形・地質	—			4
	物質循環（土砂移動）	—			4
	野生生物・絶滅危惧種	○			4
	生態系	○			4
	その他	—			
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	集落が隣接する中、ふ頭造成工事と臨港道路工事を同時期に行っているため、工事の排水や振動の影響を最小限に抑える必要がある。	低騒音・低振動の機械を使用し、排水についても泥溜を設け濁水が流出しないよう配慮する。 また、早朝や夜間の稼働・運搬を避け、工事の集中を避け平準化を図るなど、計画的な工事及び車両の運行を行う。	3
	水環境・水循環	○			3
	大気環境	○			3
	土壌・地盤環境	○			3
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等	—			
	電磁波・電波・日照	—			
	その他	—			
地域個性・文化環境	景観	○	舞鶴湾の湾口は若狭湾国定公園に位置付けられ、リアス式海岸による美しい海岸線をもつ、波静かな天然の良港であり、漁業の盛んな港である。	周辺の景観を著しく損なわないような設計とする。 国・府・請負業者で安全対策協議会を設置し、地元漁協等関係団体との連携を保ちながら、工事を円滑に進める。	3
	里山の保全	—			
	地域の文化資産	—			
	伝統的行祭事	—			
	地域住民との協働	○			4
	その他	—			